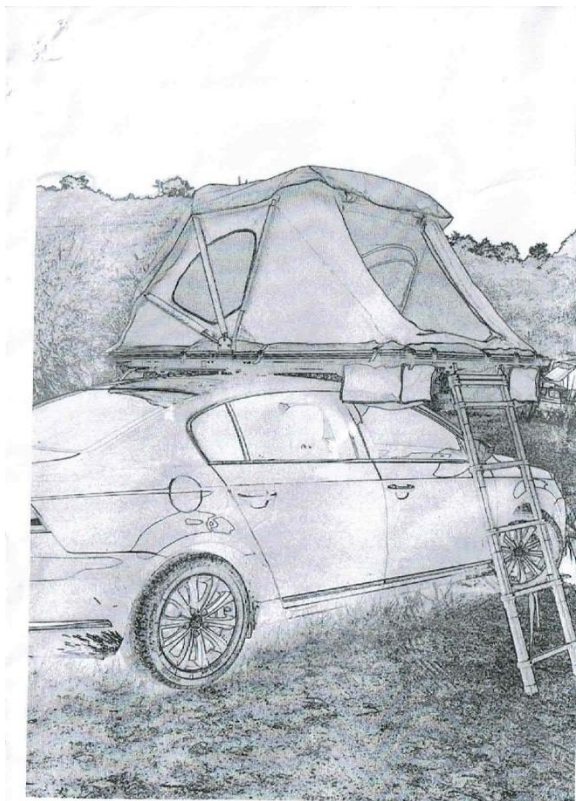


GRESS ROOF TENT

取扱説明書



CONTENTS

BRIEF INSTRUCTION

- 1.Characteristics and application
- 2.Material & Specification
- 3.Main parts

HOW TO USE

- 1.Attached parts and tools
- 2.Installation diagram
- 3.Installation steps
- 4.Operation & Maintenance
- 5.Attention

内容

取扱説明書（要約版）

1. 特性
2. 材質と仕様
3. 主要部品

使用方法

1. 付属部品とツール
2. 設置図
3. 設置手順
4. 操作とメンテナンス
5. はしごの使用方法
6. ご使用上の注意点

Car Roof Tent

Thanks for buying our tent, please read below instruction carefully before installation.

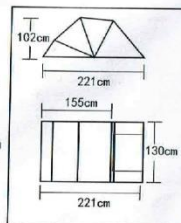
BRIEF INSTRUCTION

1.Characteristics and application

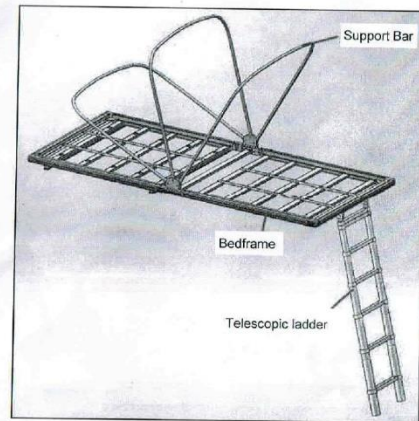
- 1) This car roof tent is a tent installed on the car roof which is very easy to open and close. You can enjoy your outdoor camping life in bad environment such as muddy and bumpy ground, the rainy day and so on.
- 2) Modular and lightweight design to convenient operation and installation.
- 3) The load bearing of the bed frame is not more than 150KG, the telescopic ladder not more than 150KG, and the tent suitable for smaller car and SUV models. When driving with car top roof tent on the road or highway, should prohibit speeding, not over 110km/h. And when on the rough road or desert, the speed should keep under 30km/h.

2.Material & Specification

- 1) Main material :Frame: Aluminium
Ladder: Aluminium
Tent: waterproof cloth
- 2) Closed size: 130(L)x105(W)x32(H)cm
Open size: 221(L)x130(W)x102(H)cm



3.Main parts



2

3

この度はグレスルーフテントをご購入いただきありがとうございます。
設置前に下記の説明をよくお読みください。

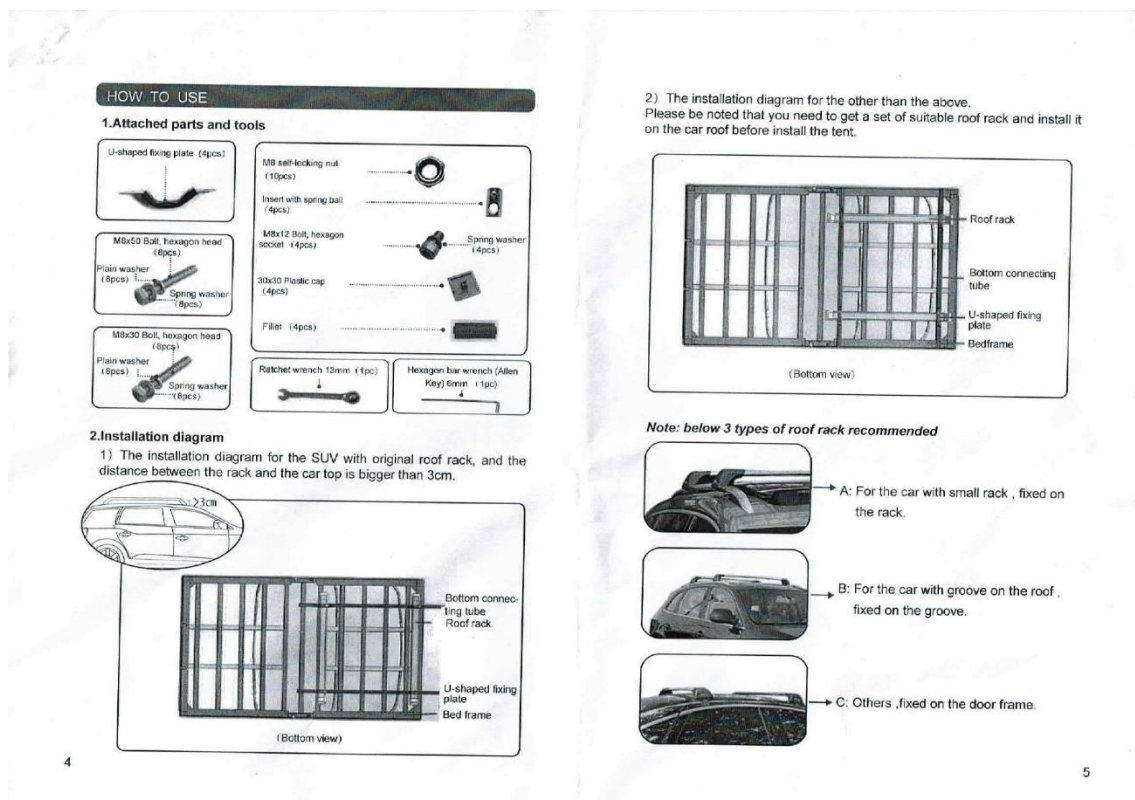
取扱説明書（要約版）

1. 特性

- 1) このルーフテントは車上で開閉が簡単なテントとなっています。
- 2) 操作が簡単な軽量設計となっています。
- 3) ベッドフレームの耐荷量は目安として 140kg 以下、伸縮はしごは 90kg 以下となり普通車、ミニバン、SUV などに取付が可能です。

2. 材質と仕様

- 1) 主要材質：フレーム：アルミニウム
はしご：アルミニウム
テント：防水性
- 2) サイズ：約 221(L)×約 130(W)×約 102(H)cm
収納サイズ：約 130(L)×約 105(W)×約 32(H)cm



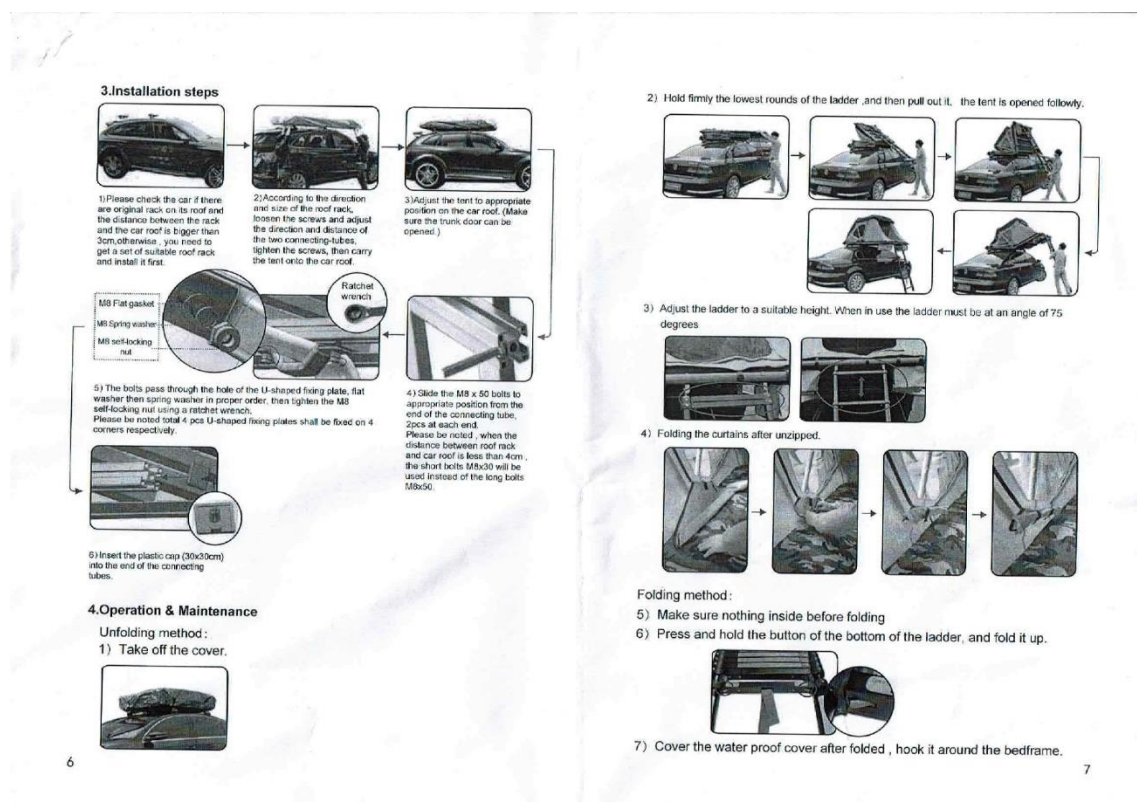
使用方法

1. 付属部品とツール

- ・ ステー(4 個)
- ・ M8×50 ボルトと六角(8 個)、平ワッシャー(8 個)、スプリングワッシャー(8 個)
- ・ M8×30 ボルトと六角(8 個)、平ワッシャー(8 個)、スプリングワッシャー(8 個)
- ・ M8 ナット(10 個)、スプリングボール(4 個)、M8×12 ボルトと六角ソケット(4 個)、30×30 プラスチックキャップ(4 個)、フィレット(4 個)
- ・ 13mm ラチェットレンチ(1 個)
- ・ 6mm 六角レンチ(1 個)

注意：推奨する下記の 3 タイプのルーフバー

- A:ラックが固定された小型ラック搭載車
 B:ルーフレールがある車
 C:その他、ドア枠に挟んで装着できる車



2. 設置手順

- 1) ルーフバーが元々搭載されている場合は、取付けには高さ 5cm 以上の間隔が必要になります。十分な間隔がない場合は適切なルーフバーが必要になりますのでテントを設置前に必ず確認してください。
- 2) テントをルーフバーに乗せて位置を調整して、トランクドアの開閉ができるか確認をしてください。
- 3) M8×50 ボルト 1 本をテント床下金具取付けバーの端からスライドさせながら入れていき、テントを浮かしボルトをルーフバーにまたがせます。
次にフィレットも同様にスライドさせながら入れていき、ルーフバーの上に乘せます。
もう 1 本の M8×50 ボルトを同様にスライドさせながら入れていき、ボルトの穴に合うように下からステーを合わせます。スプリングワッシャー、平ワッシャー、の順番に入れていきナットで締めます。締め込むときはボルトの頭を押さえながらナットだけをレンチで回すようにしてください。
- 4) 残りの 3 か所も同様にステー、フィレットをボルトで取り付けます。
- 5) プラスチックキャップをテント床下金具取付けバーの角 4 か所に差し込みます。

8) Show in operation



Overall view



Front view (window zipped)



Front view (window unzipped and folded)



Side view



Rear view

8

Maintenance:

Please dry it time after tent is wet.

5.Attention

- 01) Keep the tent windows open when folding.
- 02) Make sure nothing in the tent before folding, such as sleepy bag, pillow, etc.
- 03) Don't put anything onto the top of the tent when the tent installed on car top whether in use or not.
- 04) Using wet cloth to clean the tent.
- 05) Please double check if the nuts that lock the bedframe together with roof rack are tightened after installation and before driving.
- 06) Don't do violent exercise inside the tent.
- 07) The water proof cover must be covered during driving.
- 08) Before using the ladder, make sure that all rounds are firm and the extended parts are locked fast. Check all parts in good working condition before using. Do not use damaged, worn-out, chemically-etched ladder.
- 09) Set the ladder on firm ground. Do not let it stand on one leg. Do not set it on unsteady ground which has gunge, ice or snow on it, without any anti-skid device.
- 10) Before climbing the ladder, please make sure the crosspieces are locked, please don't reach out your body far away. Otherwise, you will lose your balance. Face the ladder while climbing up and down, hold firmly the ladder with hands. Distribute your body weight on the middle of the rounds. Do not climb on single side. Jumping from ladder is not allowed.
- 11) Do not pull out the top crosspiece unless the ladder is fully extended, or it may fall. Do not press the any contract switch when in use to avoid injury to person.
- 12) Make sure the ladder is clean. Keep it from grease, dirt, snow, paint and chemicals.
- 13) Do not conduct any temporary maintenance on ladder to damage parts.
- 14) The bedframe and the ladder are all electric conductors, keep away from any live parts.
- 15) The ladder must be at an angle of 75 degrees between the floor and ladder when in use.
- 16) To provide children with protection, do not leave the ladder stand alone without any attention.
- 17) When contracting, grasp the ladder rod by one hand, and press the left and right switches of the lowest crosspieces. Do collapse the ladder down-top sequentially and slowly. Caution to avoid hand injuries!
- 18) To extend the ladder, you need to pull out rounds bottom-up sequentially and lock each round carefully.
- 19) Before extending the ladder, make sure the ground is flat. To reduce the height, please collapse the ladder first, and then extend it again to the height you want.
- 20) You are not allowed to use the tent and ladder in strong wind weather.
- 21) The design of the ladder only permit one person to use it and max loading is 150Kg.

9

3. 操作とメンテナンス

開くとき

- 1) バックルを取ってからカバーを外します。
- 2) はしごの下部分を持ちながら引っ張るとテントが少しずつ開きます。
テントを完全に開いてからはしごを止めているベルトを外して、下段のはしごから1段ずつ順番に伸ばしていきます。
はしごの各段下部分にあるロックボタンを押すと、ロックがかかる仕組みになっていますので高さを調節してください。
- 3) はしごの傾斜が約 75 度になるようにして調節してください。
- 4) ジッパーを開けてからカーテンを畳みます。

閉じるとき

- 5) 閉じる前に中に何も入っていないことを確認してください。
ジッパーの開閉部分は雨天走行時にテントの内部が濡れる恐れがあるため、必ずジッパーを閉めてください。

6) はしごを縮める場合は、はしごの各段下部分にあるロックボタンを押すとロックが解除されるので下段から 1 段ずつ順番に縮めていきます。

7) カバーを被せて角 4 か所にあるバックルを止めます。

カバーの両側、前後にあるバックル計 6 本を止めて、フックをベッドフレームの下に引っ掛けてください。

メンテナンス

テントが濡れているときは必ず乾燥させてから保管をしてください。

4. 注意

- 1) テントの入り口を開けた状態でテント自体を閉めてください。
- 2) 寝具や物がテント内に残っていないか必ず確認をしてからテントを閉めてください。
- 3) 使用中かどうかに関わらず、テントを車上に設置中は上に何も置かないようにしてください。
- 4) 濡らした布などで汚れを落としてください。
- 5) 必ず運転前にテントがルーバーに固定されているかを確認してください。
- 6) テント内での運動は危険ですので行わないでください。
- 7) 走行時には必ずテントの防水カバーをかけてください。
- 8) はしごを使用前に全ての箇所に破損・劣化・損傷がないかを確認して下さい。
ダメージのあるはしごを使用続けますと重大なケガに繋がります。
- 9) 地面が安定した場所にはしごを置いてください。
凍っている場所や地面が滑りやすい状態の地面には置かないようにして下さい。
- 10) はしごに昇る前にバーがしっかりと固定されているか確認をして、手を遠くに伸ばす、はしごの片側に上る、ジャンプするなどの危険行為は止めてください。
はしごと向かい合ってしっかりと握って昇り降りをしてください。
- 11) はしごが完全に伸びていない状態でバーを上を引き出さないで下さい。
- 12) はしごは油汚れ、雪、塗料、化学薬品などが付着しないようにきれいに保つようにして下さい。
- 13) 部品損傷の恐れがあるので一時的なメンテナンスは行わないようにして下さい。
- 14) ベッドフレームとはしごは全て電気導体のため、充電部には近づけないようにして下さい。
- 15) はしご使用時の立掛け度は 75 度にして下さい。
- 16) お子様がはしごを使用する場合、重大な事故を防ぐために目を離さないようにしてください。

- 17) はしごの伸縮時に手を挟まないように注意してください。
- 18) はしごを伸縮時は順番にゆっくりと引き出してください。
- 19) はしごは地面が安定している場所で伸ばしてください。
- 20) 強風の場合は使用しないで下さい。
- 21) はしごの昇降は必ず1人で行って下さい。また最大過量は150kgになります。